

アメリカと日本における 潰瘍性大腸炎・クローン病(IBD)の 栄養・食事管理の最新動向

この度米国登録栄養士の先生や日本の病院で活躍中の先生をお招きし、潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患(IBD)向けの食事・栄養管理に関するセミナーを実施することになりました。管理栄養士、看護師、医師など栄養管理に関わる方はもちろん、アメリカの食事・栄養療法に興味のある方や管理栄養士を目指す学生さんにも大変参考になる内容と思います。ぜひ奮ってご参加ください。

2025. 3.29 土 10時～12時 (日本時間)

視聴方法：ZOOM (ウェビナー形式)

参加費：1,000円

*お申し込み後にZOOMリンクをお送りします。
*イベント開催後1週間閲覧が可能です。

お申し込みはこちらから→



杉山 優一
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院



高科 陽子
HUNTINGTON HEALTH



宮崎 拓郎
株式会社グッテ



福元 聡史
トヨタ記念病院

座長

プログラム

10:00-10:05

全体スケジュール・説明

10:05-10:10

『製品紹介～微量栄養素の重要性～』 ニュートリー(株) 佐々木郁枝氏

10:10-10:30

『潰瘍性大腸炎・クローン病の基礎と日米の食事・栄養管理の違い』
米国登録栄養士 株式会社グッテ 宮崎拓郎

10:30-11:00

『アメリカ急性期病院におけるIBD患者さんへの栄養管理プロセス
～入院から外来まで』
ハンティングトン病院 高科陽子先生

11:00-11:30

『日本急性期病院におけるIBD患者さんへの栄養管理
～入院から外来まで、症例を通して』
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 杉山 優一先生

11:30-12:00

パネルディスカッション「IBD栄養・食事管理のこれから」

座長：トヨタ記念病院 福元聡史先生／登壇者：高科先生、杉山先生、宮崎

登壇者のご紹介



杉山 優一

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

NST専門療法士、病態栄養管理栄養士、
日本糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士、
脳卒中療養相談士取得所属学会、日本栄養治療学会、
日本病態栄養学会、日本褥瘡学会、日本臨床小児
アレルギー学会、日本栄養改善学会所属。

豊川市民病院にて約10年間、へき地医療圏で幅広い
年齢を対象に、幅広い領域での栄養サポートを実施。
現在は日本赤十字の理念に基づき、より幅広い患者を
対象に栄養サポートに努めており、学会発表にも尽力。



宮崎 拓郎

株式会社グッテ

米国登録栄養士(RDN)、公衆衛生学修士(MPH)。

製薬企業にて事業開発等を経験後退職し渡米。
ミシガン大学公衆衛生学修士修了。同大学病院等での
勤務を経て登録栄養士取得。同時に消化器内科にて
低FODMAP食などの臨床試験に従事。帰国後グッテ代表。
講談社より「潰瘍性大腸炎・クローン病の今すぐ使える
安心レシピ 科学的根拠にもとづく、症状に応じた食事と
栄養」など共著にて2冊出版。

登録者3100名をこえるIBD患者・家族向けオンライン
コミュニティ「Gコミュニティ」を運営。



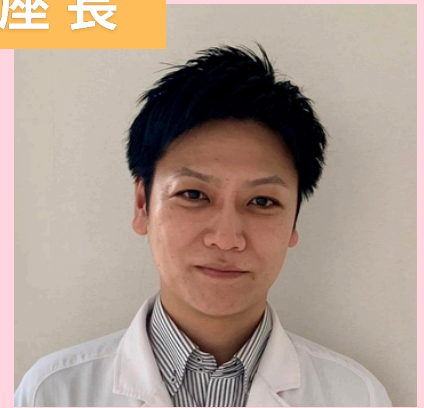
高科 陽子

HUNTINGTON HEALTH

米国登録栄養士(RDN)、理学修士。認定栄養
サポート臨床士(CNSC)、カリフォルニア州
CHILDREN SERVICES (CCS) 認定栄養士。
元認定臨床移植栄養士(CCTD)。大学病院、
高度医療専門手術センター、救急病院など、
アメリカの急性期医療施設で15年以上勤務。

乳児から成人まで、幅広い年齢層を対象に、さまざまな
疾患や状態に応じた栄養サポートを提供。患者一人
ひとりの治療効果を高め、家族を含めた生活の質
(QOL)の向上に尽力。エビデンスに基づいた最新の
栄養療法と丁寧なコミュニケーションを重視し、
最適な栄養管理を追求。

座長



福元 聡史

トヨタ記念病院

管地域中核病院の管理栄養士として幅広い
臨床栄養の知識を有し、NST専門療法士、
栄養治療専門療法士、がん病態栄養専門管理
栄養士、その他専門資格を多数取得している。

介護保険施設を経て急性期病院で19年勤務。
院内の栄養管理だけではなく、地域における
栄養管理の多職種連携の推進をライフワーク
としている。